

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

No.1

左右の卵巣を間違えて摘出し、直後に再建したという事例が発生しました。

大学病院が、患者の卵巣の腫瘍を取り除く手術で左右を誤り、予定とは逆の卵巣を摘出していたことを公表しました。病院ホームページに掲載されている『事例の概要と再発防止策』によると、右卵巣腫瘍と診断された女性の手術で、婦人科の医師が誤って左の卵巣と卵管を切除しました。直後に家族に状況の説明・謝罪を行うとともに、再建手術を行いました。女性は9日後に退院し、外来診療を継続しています。本委員会を設置し、その調査報告に基づき、腫瘍摘出の

相互に確認するプロセスを設け、術中の取
(return) となる切除を行う直前に「切除前タイ

具体的には、骨盤漏斗靭帯を鉗子で挟鉗する前に、「みぎ」・「ひだり」のどちらの卵巣と骨盤漏斗靭帯を結紮切断するか、指差し呼称で確認した後に宣言する。②麻酔科医師と外回り看護師は手術申込書と手術同意書と執刀医が宣言した「切除前タイムアウト」の内容に相違が無いかを確認し、その旨を返答する。

- マーキング運用方法の改善